

日産財団月報 2017 / 4・5 月度

2016年度 決算

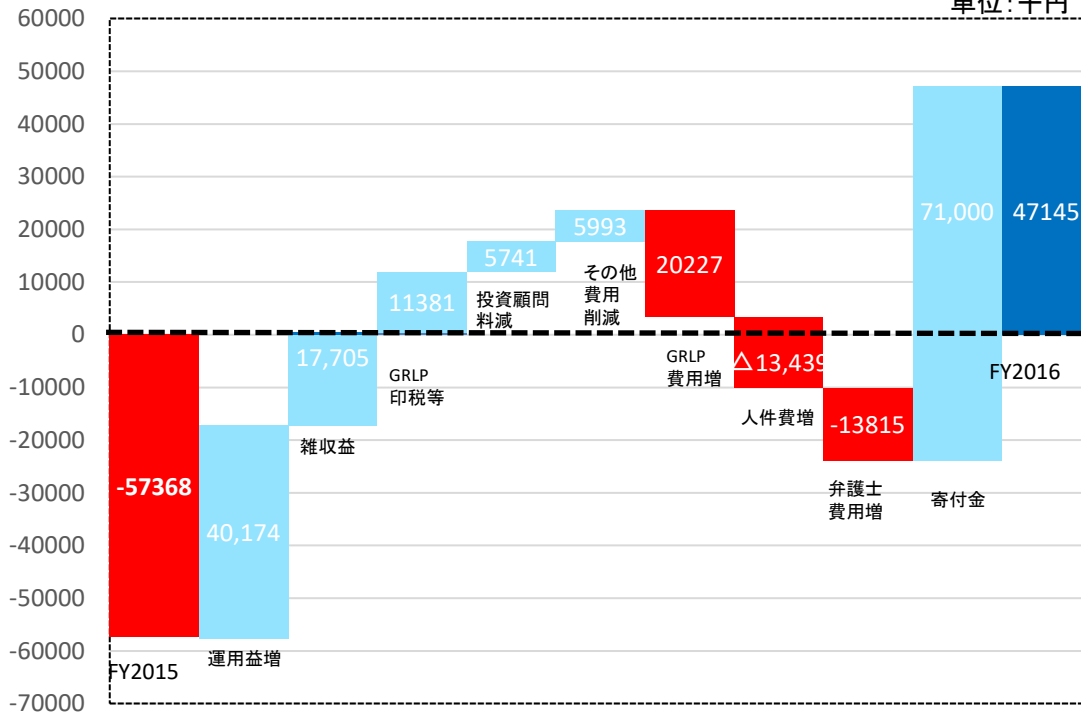
一昨年(2015年度)の決算は、超低金利下で収入が縮小する中で、財団主力事業のリーダーシップ講座(Global Resilient Leadership Program: GRLP)が本格稼働し、大幅な赤字を計上しました。

2016年度は、財団資産の一部をより積極的な運用にシフトし収益を改善するとともに、諸活動の原価低減や過去会計の見直しにより税金の還付を受けるなど、地道な収益改善に努めました。一方、GRLPは赤字体質を脱することができず、また企業統治強化の流れから財団の内部統制の不備が指摘され、その改善に向けた調査費用が膨らみました。

最終的には、GRLPの赤字を埋める検討が実を結び、日産自動車から7,100万円の寄付を獲得したことにより、4,700万円の黒字となりました。

2015-2016 経常利益増減分析

単位: 千円



2017年度 事業予算

2017年度は、これまでの事業の枠組みを大きく変えることなく、理科教育助成とGRLPを中心に、将来のトップリーダー人材の育成を目指します。予算は昨年度レベル(総額約2.6億円)を見込みながら、各事業とも、プログラム内容の刷新や原価低減に努めて価値向上を図ります。

特に、GRLP事業は恒常的な赤字体質にあります。また、講座内容も4年目を迎え、新コンテンツによる魅力向上が待たれています。そこで、外部委託/内部業務の見直しによるコスト大幅削減を行い、その原資の一部を新コンテンツのための研究費に充てました。

2016-2017 GRLPコスト比較

